

機械器具 58 整形用機械器具
管理医療機器 特定保守管理医療機器
能動型展伸・屈伸回転運動装置(JMDN:70611000)

フローシーペット

【 禁忌・禁止 】

1. 可燃性の麻酔薬などが使用されている場所では使用しないこと。
2. 走行ベルトへの巻き込みが懸念されるような服装で本品を使用しないこと。

【 形状・構造及び原理等 】

1. 形状・寸法

本品は、下肢または背筋等の筋強度、持続、発達または回復のために用いる、訓練、強化、リハビリテーション用能動型装置である。医療施設の検査室およびリハビリテーション室で使用され、主として運動負荷検査およびリハビリテーションでの運動負荷を主な目的とする。



上記はロングサイドレール付きタイプ

幅：760mm 高さ：1320mm（水平時） 奥行：2130mm

2. 構成

- 1) フローシーペット本体
- 2) ロングサイドレール

**3. 電気的定格及び分額

電気的定格	電圧	AC 200～230V※ 周波数 50/60Hz
	消費電力	3000VA
機器の分類	保護の形式	クラス I の ME 機器
	保護の程度	B 形装着部を持つ機器

※施設内の AC200～230V 電源に対し使用する。

4. 性能

傾斜範囲：0～25%

* 速度範囲：0.1～20km/h

5. 原理

モータユニットにより指定された速度で走行ベルトを回転させ、傾斜システムにより走行面の角度を変化させる。これによって、患者（被験者）に対して走行時に負荷をかけることができる。患者（被験者）の走行に関する実測値は、コントロールユニットに表示される。またコミュニケーションインターフェイスを通じて外部の機器に送ることが可能である。

【 使用目的又は効果 】

下肢又は背筋等の筋力を維持、発達又は回復させるために用いること。

【 使用方法等 】

1 使用前準備

- 1) 電源コードを電源に接続する。
- 2) 走行面に物が載せられていないことを確認する。
- 3) 電源スイッチを ON にして電力を投入する。

- 4) 電源を ON にするとセルフテストが行われる。セルフテストが終了するとピープ音が鳴る。
- 5) 必要に応じてコミュニケーションインターフェイスに外部の機器を接続する。

2 使用中の操作

- 1) 患者（被験者）に合わせコントロールユニットの操作により走行速度と走行面の傾斜を設定する。
- 2) 患者（被験者）を走行面に配置する。
- 3) コントロールユニットのスタートスイッチを押す。コントロールユニットに患者（被験者）の走行に関する実測値が表示される。緊急時は非常停止スイッチを押し、走行ベルトの回転を停止させる。
- 4) 終了したら電源スイッチを OFF にして電源を遮断し、患者（被験者）を退出させる。

3. 使用後の処置

- 1) 電源コードを電源から外す。外部機器と接続している場合は接続を解除する。
- 2) フローシーペット本体を液体洗剤等で拭き清し乾燥させる。

【 使用上の注意 】

- 1) 操作中に患者（被験者）が失神、めまい、または痛みを感じた場合は、操作を中止し、医師の診察を受けること。
- 2) スパイクのないランニングシューズ等を履いて使用すること。
- 3) 水平で安定した位置に設置すること。
- 4) 配置可能な患者（被験者）の体重は 225kg までである。

【 保管方法及び有効期間等 】

1.使用条件：

- 1) 温度：14℃～40℃
- 2) 湿度：30～90%（結露しないこと）
- 3) 気圧：700～1060hPa

2.保管条件：

- 1) 温度：－25℃～70℃
- 2) 湿度：10～95%（結露しないこと）
- 3) 気圧：500～1060hPa

【 保守・点検に係る事項 】

1.使用者による保守点検

- 1) 使用前の破損有無の確認
- 2) 使用後の清掃

2.業者による保守点検

- 1) 電気的異常の確認
- 2) 校正

【 製造販売業者及び製造業者等の氏名または名称等 】

製造販売業者：旭光物産株式会社

電話：03-3814-1635

製造業者：ロード ビーブイ（オランダ）